



## 2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月14日  
東

上場会社名 株式会社テンダ 上場取引所  
 コード番号 4198 URL <https://www.tenda.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 小林 謙  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 藺部 晃 (TEL) 03-3590-4150  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年5月期第3四半期の連結業績(2022年6月1日~2023年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	3,047	27.1	324	31.6	303	28.4	162	4.8
2022年5月期第3四半期	2,398	10.3	246	△2.2	236	△5.6	155	△7.0

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 163百万円( 4.4%) 2022年5月期第3四半期 156百万円( △8.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	75.05	73.79
2022年5月期第3四半期	74.04	71.10

(注) 2022年5月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が2021年6月10日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場したため、新規上場日から2022年5月期第3四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第3四半期	3,179	2,185	68.7
2022年5月期	3,004	2,078	69.2

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 2,185百万円 2022年5月期 2,078百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	27.00	27.00
2023年5月期	—	0.00	—		
2023年5月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有  
配当予想の修正については、本日(2023年4月14日)公表しました「配当予想(増配)の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	19.7	450	20.6	434	20.8	270	12.4	124.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年5月期3Q	2,169,500株	2022年5月期	2,167,900株
2023年5月期3Q	—株	2022年5月期	—株
2023年5月期3Q	2,169,340株	2022年5月期3Q	2,098,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症禍からの正常化が進む一方でウクライナ情勢に端を発する物価高騰と、それらに対する各国の金融政策の結果、家計消費と企業投資への影響など不透明な状況が続きました。

当社グループのITソリューション事業及びビジネスプロダクト事業が属するITサービス市場においては、既存システムの刷新やデジタルトランスフォーメーション(DX)推進によるIT投資需要は依然として旺盛であります。ゲームコンテンツ事業は、リリースから長期期間が経過したタイトルの売上減少に歯止めをかけるべく各サービス提供事業者間の競争がさらに厳しさを増しております。

このような状況のもと、ITソリューション事業においては、受託開発と「ITソリューションのサブスクリプションモデル」と銘打つ「テンダラボ」(非常駐型準委任契約による開発)の展開を推進いたしました。「テンダラボ」は基幹システムに比べ仕様変更や機能開発のニーズが細かく発生するwebサービスを利用しているあらゆる業種に対し開発規模、速度の面で親和性が高く、特にDXニーズの強い官公庁・企業内部のweb申請システム、ECサイト構築の分野で更なる成長を牽引しております。これに加え、センター共通利用型RPAソリューションの展開を推進いたしました。

ビジネスプロダクト事業においては、展示会等への参加や製品認知度向上のための広告宣伝を行い高単価帯の顧客への重点的な営業活動を推進いたしました。

ゲームコンテンツ事業においては、主力タイトルの運営強化に加えて原価を中心としたコスト管理に注力いたしました。

また、株式会社三友テクノロジー及び有限会社熱中日和の連結子会社化により、IT人材獲得競争が加熱する中で成長へ向けた人材確保も着実に進展しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は3,047百万円(前年同四半期比27.1%増)、営業利益は324百万円(前年同四半期比31.6%増)、経常利益は303百万円(前年同四半期比28.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は162百万円(前年同四半期比4.8%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (ITソリューション事業)

ITソリューション事業においては、企業のDX化等に向けた投資等が活性化されつつある状況もあり受託開発においては案件数、案件単価ともに順調に推移しております。加えて新規連結子会社の増加に伴い、売上高は2,412百万円(前年同四半期比45.9%増)、セグメント利益は602百万円(前年同四半期比10.1%増)となりました。

#### (ビジネスプロダクト事業)

ビジネスプロダクト事業においては、主力製品である「Dojo」が堅調に推移しております。その結果、売上高は424百万円(前年同四半期比4.3%増)、セグメント利益は129百万円(前年同四半期比134.6%増)となりました。

#### (ゲームコンテンツ事業)

ゲームコンテンツ事業においては、主力プラットフォームにおける競合ゲームの活況を受け、自社タイトル「ヴァンパイア†ブラッド」等の業績に影響が出たため追加の集客施策などのイベントを実施しつつも原価を中心としたコスト削減に注力いたしました。保守・運営の受託業務の減少の結果、売上高は211百万円(前年同四半期比37.6%減)、セグメント利益は8百万円(前年同四半期比58.1%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

財政状態については、次のとおりであります。

#### ①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ175百万円増加し、3,179百万円となりました。

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ26百万円減少し、2,674百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少が128百万円あったこと、受取手形、売掛金及び契約資産の増加が33百万円あったこと、仕掛品の増加が40百万円あったこと、その他の増加が28百万円あったこと等によります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ201百万円増加し、505百万円となりました。これは主にソフトウェアの増加が13百万円あったこと、のれんの増加が193百万円あったこと等によります。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ68百万円増加し、993百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ8百万円増加し、731百万円となりました。これは主に買掛金の増加が11百万円あったこと、1年内返済予定の長期借入金の増加が6百万円あったこと、未払法人税等の減少が42百万円あったこと、その他の増加が33百万円あったこと等によります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ59百万円増加し、262百万円となりました。これは長期借入金の増加が34百万円あったこと、その他の増加が25百万円あったことによります。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ106百万円増加し、2,185百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を162百万円計上したこと、剰余金の配当を58百万円行ったこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年1月13日の「通期連結業績予想修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、連結業績予想に修正がある場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,119,328	1,991,102
受取手形、売掛金及び契約資産	535,139	568,339
商品	1,467	2,573
仕掛品	5,222	45,891
貯蔵品	978	951
その他	41,335	69,369
貸倒引当金	△2,759	△4,196
流動資産合計	2,700,712	2,674,032
固定資産		
有形固定資産	19,510	20,487
無形固定資産		
ソフトウェア	73,198	86,862
のれん	—	193,818
その他	242	242
無形固定資産合計	73,440	280,923
投資その他の資産		
その他	210,588	205,276
貸倒引当金	—	△1,291
投資その他の資産合計	210,588	203,984
固定資産合計	303,539	505,395
資産合計	3,004,251	3,179,428

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	153,951	165,705
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	126,090	132,738
未払法人税等	99,496	56,620
前受収益	142,866	139,803
賞与引当金	—	2,548
その他	150,449	183,769
流動負債合計	722,853	731,184
固定負債		
長期借入金	200,834	235,163
その他	2,062	27,622
固定負債合計	202,896	262,785
負債合計	925,750	993,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	305,113	306,017
資本剰余金	771,694	772,598
利益剰余金	985,809	1,090,076
株主資本合計	2,062,617	2,168,692
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,883	16,765
その他の包括利益累計額合計	15,883	16,765
純資産合計	2,078,501	2,185,457
負債純資産合計	3,004,251	3,179,428

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
売上高	2,398,921	3,047,861
売上原価	1,388,943	1,896,556
売上総利益	1,009,977	1,151,304
販売費及び一般管理費	763,513	826,854
営業利益	246,463	324,450
営業外収益		
受取利息	19	260
受取配当金	11	—
助成金収入	3,811	3,042
事業譲渡益	—	1,852
その他	31	1,912
営業外収益合計	3,874	7,067
営業外費用		
地代家賃	—	16,564
支払利息	1,705	1,545
為替差損	3,246	5,595
株式公開費用	8,830	—
その他	17	4,083
営業外費用合計	13,799	27,789
経常利益	236,538	303,727
特別利益		
投資有価証券売却益	1,601	—
特別利益合計	1,601	—
特別損失		
訴訟関連損失	—	6,800
特別損失合計	—	6,800
税金等調整前四半期純利益	238,139	296,927
法人税、住民税及び事業税	83,103	114,103
法人税等調整額	△290	20,023
法人税等合計	82,813	134,127
四半期純利益	155,326	162,800
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,326	162,800



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	155,326	162,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△900	—
為替換算調整勘定	2,358	881
その他の包括利益合計	1,457	881
四半期包括利益	156,783	163,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,783	163,681
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ITソリューション事業	ビジネスプロダクト事業	ゲームコンテンツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,653,479	406,895	338,545	2,398,921	—	2,398,921
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,797	—	—	12,797	△12,797	—
計	1,666,277	406,895	338,545	2,411,718	△12,797	2,398,921
セグメント利益	546,988	55,389	20,039	622,418	△375,954	246,463

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△375,954千円は、セグメント間取引消去15,957千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△391,911千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ITソリューション事業	ビジネスプロダクト事業	ゲームコンテンツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,412,003	424,539	211,317	3,047,861	—	3,047,861
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,240	300	—	7,540	△7,540	—
計	2,419,244	424,839	211,317	3,055,401	△7,540	3,047,861
セグメント利益	602,272	129,939	8,397	740,609	△416,159	324,450

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△416,159千円は、セグメント間取引消去17,547千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△433,706千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、三友テクノロジー株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度

の末日に比べ、「ITソリューション事業」のセグメント資産が363,598千円増加しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、有限会社熱中日和を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ゲームコンテンツ事業」のセグメント資産が164,459千円増加しております。

### 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、三友テクノロジー株式会社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ITソリューション事業」において、のれんが148,255千円増加しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、有限会社熱中日和を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ゲームコンテンツ事業」において、のれんが45,563千円増加しております。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。